

2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月9日

上場会社名 天馬株式会社 上場取引所 東
コード番号 7958 URL https://www.tenmacorp.co.jp
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 廣野 裕彦
問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務・財務経理担当兼 総務部長 (氏名) 則武 勝 TEL 03-3598-5515
四半期報告書提出予定日 2023年11月9日 配当支払開始予定日 2023年12月8日
四半期決算補足説明資料作成の有無: 無
四半期決算説明会開催の有無: 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績 (2023年4月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	47,286	5.0	936	69.5	1,742	63.8	1,382	241.0
2023年3月期第2四半期	45,054	15.8	552	△37.1	1,064	△6.9	405	△28.8

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 6,152百万円 (△13.7%) 2023年3月期第2四半期 7,130百万円 (169.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	64.08	—
2023年3月期第2四半期	18.33	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 線
2024年3月期第2四半期	104,135	82,391	79.1	3,870.46
2023年3月期	102,802	78,310	76.2	3,603.34

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 82,391百万円 2023年3月期 78,310百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	40.00	—	42.00	82.00
2024年3月期	—	40.00	—	—	—
2024年3月期 (予想)	—	—	—	42.00	82.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2024年3月期の連結業績予想 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	94,000	△7.9	1,200	△60.1	3,800	△0.0	2,900	3.6	138.39

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無: 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注)詳細は、添付資料10ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	24,313,026株	2023年3月期	25,313,026株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	3,025,960株	2023年3月期	3,580,340株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	21,566,267株	2023年3月期2Q	22,106,906株

(注)役員及び従業員向け株式交付信託が保有する当社株式が、期末自己株式数の計算において控除する自己株式に含まれております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(会計方針の変更)	10
(重要な後発事象)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年9月30日）における世界経済は、依然として高水準であるインフレ率を抑制するための各国中央銀行による高金利政策が経済活動に影響を及ぼし、低成長が続く見通しであります。また地政学リスクの高まりや中国における不動産市況の低迷等、不透明な状況が続いております。

日本経済においては、インバウンド需要の回復は見られるものの、食品等の生活必需品の継続的な値上げに伴う節約志向の高まりや人手不足の長期化、また海外需要の低迷等もあり、景気回復の道筋が見通し難い状況であります。

このような状況の中、当社グループは、2021年5月に公表した「第3次中期経営計画」に基づき、中長期的な成長戦略の実現に向けた基盤構築を進めつつ、生産体制の維持・強化を図ってまいりました。

この結果、売上高は47,286百万円（前年同期比5.0%増）となり、営業利益は936百万円（前年同期比69.5%増）、経常利益は1,742百万円（前年同期比63.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,382百万円（前年同期比241.0%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

（日本）

ハウスウエア合成樹脂製品分野及び関連商品においては、価格改定効果があった一方、消費者の節約志向の高まり等もあり、消費財における消費回復の動きは鈍く、売上が減少しました。工業品合成樹脂製品分野においては、半導体不足の影響が薄れた自動車業界に生産回復の動きが見られたことから、車両関連売上が牽引し、売上が増加しました。

利益面につきましては、ハウスウエア合成樹脂製品分野及び関連商品における価格改定効果もあり、黒字回復しました。

この結果、当セグメントの売上高は9,666百万円（前年同期比0.2%減）となり、セグメント利益（営業利益）は176百万円（前年同期はセグメント損失104百万円）となりました。

（中国）

工業品合成樹脂製品分野においては、取引先の在庫調整や東南アジアへの生産シフトの影響等もあり、売上が減少しました。ハウスウエア合成樹脂製品分野及び関連商品においては不動産市況の低迷等がありましたが、売上は微増となりました。

利益面につきましては、人員体制の見直しや自動化等の生産効率改善にも取り組み、また為替相場変動による支払コストの減少もあり、前年同期を上回りました。

この結果、売上高は10,880百万円（前年同期比7.2%減）となり、セグメント利益（営業利益）は517百万円（前年同期比11.1%増）となりました。

（東南アジア）

円安による円換算金額の増加や前年同期にあった電子部品等の不足による取引先の生産調整も減少し、工業品合成樹脂製品分野の売上高が大幅に増加しました。

利益面につきましては、売上増加に加え、人員削減等による固定費圧縮にも取り組み、前年同期を上回りました。

この結果、売上高は26,740百万円（前年同期比13.1%増）となり、セグメント利益（営業利益）は897百万円（前年同期比12.5%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べて1,333百万円増加し、104,135百万円となりました。これは投資有価証券が1,470百万円、有形固定資産合計が1,370百万円、それぞれ増加し、受取手形及び売掛金が2,078百万円減少したこと等によります。

（負債）

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて2,747百万円減少し、21,744百万円となりました。これは支払手形及び買掛金が2,249百万円減少したこと等によります。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて4,080百万円増加し、82,391百万円となりました。これは為替換算調整勘定が4,003百万円、その他有価証券評価差額金847百万円、控除項目である自己株式が667百万円、それぞれ増加し、また資本剰余金が1,824百万円減少したこと等によります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の第2四半期連結業績は、2023年5月12日に公表いたしました業績予想に対し、営業利益について下回りましたが、売上高、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益については上回りました。詳細につきましては、本日（2023年11月9日）別途公表いたしました「2024年3月期 第2四半期連結累計期間業績予想との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

なお、通期の予想につきましては、引き続き不透明な事業環境が想定されることから、売上高及び営業利益について修正いたします。経常利益につきましては、営業外収益の計上を見込んでおり、現時点におきましては、2023年5月12日に公表した予想を据え置くことといたします。尚、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、上記営業外収益を勘案し、修正いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	30,677,991	30,449,441
受取手形及び売掛金	19,787,672	17,709,721
商品及び製品	3,669,068	3,824,329
仕掛品	688,595	722,677
原材料及び貯蔵品	5,077,348	5,132,665
その他	1,688,442	1,821,067
貸倒引当金	△1,258	△1,254
流動資産合計	61,587,858	59,658,645
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	14,305,325	14,762,053
機械装置及び運搬具（純額）	8,928,151	9,394,331
使用権資産（純額）	3,118,451	3,111,067
その他（純額）	3,674,909	4,129,368
有形固定資産合計	30,026,836	31,396,820
無形固定資産	2,736,059	2,900,774
投資その他の資産		
投資有価証券	4,756,915	6,227,067
退職給付に係る資産	2,817,877	2,827,063
繰延税金資産	177,474	208,398
その他	706,232	924,087
貸倒引当金	△7,407	△7,911
投資その他の資産合計	8,451,091	10,178,704
固定資産合計	41,213,986	44,476,298
資産合計	102,801,844	104,134,943
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,791,252	9,542,302
未払法人税等	608,039	531,305
賞与引当金	868,627	1,024,007
租税関連費用引当金	127,781	143,912
事業整理損失引当金	32,840	2,700
その他	4,492,167	3,942,178
流動負債合計	17,920,707	15,186,405
固定負債		
長期末払金	13,632	4,872
役員株式給付引当金	108,326	116,384
従業員株式給付引当金	3,757	4,264
退職給付に係る負債	393,806	464,960
リース債務	3,139,649	3,142,657
資産除去債務	502,178	555,213
繰延税金負債	2,344,388	2,204,811
事業構造改善引当金	64,994	64,584
固定負債合計	6,570,730	6,557,747
負債合計	24,491,437	21,744,151

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,225,350	19,225,350
資本剰余金	14,856,522	13,032,322
利益剰余金	40,582,374	41,050,221
自己株式	△6,592,755	△5,926,220
株主資本合計	68,071,491	67,381,674
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,560,749	2,407,496
為替換算調整勘定	7,636,873	11,639,880
退職給付に係る調整累計額	1,041,215	961,652
その他の包括利益累計額合計	10,238,837	15,009,028
非支配株主持分	79	90
純資産合計	78,310,407	82,390,792
負債純資産合計	102,801,844	104,134,943

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
売上高	45,053,569	47,285,925
売上原価	38,843,337	40,668,840
売上総利益	6,210,232	6,617,085
販売費及び一般管理費	5,658,053	5,680,911
営業利益	552,179	936,174
営業外収益		
受取利息	83,909	229,217
受取配当金	65,816	72,475
持分法による投資利益	6,683	53,351
為替差益	329,178	386,407
投資有価証券売却益	—	73,052
その他	110,584	81,466
営業外収益合計	596,171	895,968
営業外費用		
支払利息	60,079	59,335
その他	24,551	30,900
営業外費用合計	84,629	90,235
経常利益	1,063,720	1,741,906
特別利益		
固定資産売却益	13,503	66,112
受取和解金	105,000	—
負ののれん発生益	—	136,876
特別利益合計	118,503	202,989
特別損失		
固定資産売却損	467	1,764
固定資産除却損	9,236	12,751
関係会社清算損	5,331	—
訴訟損失引当金繰入額	25,000	—
事業整理損失引当金繰入額	51,000	2,700
事業整理損	—	4,300
新型コロナウイルス感染症関連損失	116,294	—
訴訟和解金	—	30,000
特別損失合計	207,328	51,515
税金等調整前四半期純利益	974,895	1,893,380
法人税等	569,637	511,331
四半期純利益	405,258	1,382,049
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	1
親会社株主に帰属する四半期純利益	405,258	1,382,048

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	405,258	1,382,049
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△85,407	846,747
為替換算調整勘定	6,811,225	3,927,436
退職給付に係る調整額	△64,582	△79,562
持分法適用会社に対する持分相当額	63,915	75,580
その他の包括利益合計	6,725,150	4,770,201
四半期包括利益	7,130,408	6,152,250
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,130,398	6,152,238
非支配株主に係る四半期包括利益	10	12

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	974,895	1,893,380
減価償却費	1,909,376	2,316,072
受取和解金	△105,000	—
訴訟和解金	—	30,000
負ののれん発生益	—	△136,876
賞与引当金の増減額 (△は減少)	74,317	113,121
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△878	△4
役員株式給付引当金の増減額 (△は減少)	8,461	8,058
従業員株式給付引当金の増減額 (△は減少)	—	507
租税関連費用引当金の増減額 (△は減少)	2,625	—
事業構造改善引当金の増減額 (△は減少)	—	△410
関係会社整理損失引当金の増減額 (△は減少)	△6,543	—
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△117,490	△123,829
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	14,329	16,113
訴訟損失引当金の増減額 (△は減少)	25,000	—
事業整理損失引当金の増減額 (△は減少)	51,000	△30,140
受取利息及び受取配当金	△149,725	△301,692
支払利息	60,079	59,335
関係会社清算損益 (△は益)	5,331	—
為替差損益 (△は益)	△106,620	7,074
固定資産除却損	9,236	12,751
固定資産売却損益 (△は益)	△13,036	△64,349
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	△73,052
出資金評価損	—	4,303
売上債権の増減額 (△は増加)	1,482,663	3,609,044
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△71,838	465,690
仕入債務の増減額 (△は減少)	△803,224	△3,316,976
持分法による投資損益 (△は益)	△6,683	△53,351
その他	△306,205	△529,662
小計	2,930,067	3,905,109
利息及び配当金の受取額	140,021	359,113
和解金の受取額	75,000	—
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△320,852	△653,067
和解金の支払額	—	△30,000
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,824,237	3,581,156
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△7,692,061	△7,036,499
定期預金の払戻による収入	11,238,152	8,595,417
有形固定資産の取得による支出	△1,363,603	△1,755,155
有形固定資産の売却による収入	17,857	19,569
有形固定資産の除却による支出	△1,719	△3,966
無形固定資産の取得による支出	△15,252	△26,575
投資有価証券の取得による支出	△1,118	△1,076
投資有価証券の売却による収入	—	133,313
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△693,696
非連結子会社株式の取得による支出	△84,320	△522,741
投資事業組合への出資による支出	—	△12,500
関係会社の整理による収入	23,803	—
貸付けによる支出	△1,461	△226,020
貸付金の回収による収入	563	465
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,120,840	△1,529,464

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2023年4月1日 至 2023年9月30日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の純増減額（△は増加）	△431,489	△1,257,879
配当金の支払額	△934,107	△914,804
リース債務の支払額	△142,606	△308,640
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,508,202	△2,481,323
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,352,999	1,332,026
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	5,789,874	902,395
現金及び現金同等物の期首残高	15,280,877	22,403,471
現金及び現金同等物の四半期末残高	21,070,751	23,305,866

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

（自己株式の購入）

2023年5月12日開催の取締役会において決議した、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づく自己株式の市場買付により、当第2四半期連結累計期間において、当社普通株式448,700株を総額1,165百万円にて取得し、自己株式が同額増加しました。

（自己株式の消却）

2023年5月12日開催の取締役会決議に基づき、2023年5月31日付で、自己株式1,000,000株の消却を実施しました。

（自己株式の処分）

2023年5月12日開催の取締役会において株式報酬制度の導入・継続に伴う第三者割当により自己株式の処分を行うことを決議し、2023年5月30日に自己株式220,000株の処分を実施しました。

上記の結果、当第2四半期連結累計期間において資本剰余金が1,824百万円減少、自己株式が667百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末において資本剰余金が13,032百万円、自己株式は5,926百万円となりました。

（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、第1四半期連結会計期間において、Tenma America Corporation及びTenma Plastic Mexico, S.A. de C.V.の株式を取得したため、連結の範囲に含めております。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（会計方針の変更）

該当事項はありません。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	日本	中国	東南アジア	合計
売上高				
外部顧客への売上高	9,688,510	11,728,628	23,636,431	45,053,569
セグメント間の内部売上高 又は振替高	44,082	216,712	5,330	266,124
計	9,732,592	11,945,340	23,641,761	45,319,693
セグメント利益 又はセグメント損失（△）	△103,634	465,301	797,426	1,159,093

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	1,159,093
セグメント間取引消去	5,893
全社費用(注)	△612,807
四半期連結損益計算書の営業利益	552,179

（注） 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社管理部門に係る費用であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	日本	中国	東南アジア	合計
売上高				
外部顧客への売上高	9,665,909	10,880,426	26,739,591	47,285,925
セグメント間の内部売上高 又は振替高	94,436	172,758	58,996	326,190
計	9,760,345	11,053,183	26,798,587	47,612,115
セグメント利益	176,313	516,776	897,266	1,590,355

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,590,355
セグメント間取引消去	8,787
全社費用(注)	△662,968
四半期連結損益計算書の営業利益	936,174

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社管理部門に係る費用であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

北米において、株式取得によりTenma America Corporation及びTenma Plastic Mexico, S.A. de C.V.が連結子会社となったことに伴い、負ののれん発生益を認識しております。当該事項による負ののれん発生益の計上額は136,876千円であります。なお、負ののれん発生益は特別利益に計上しているため、上記セグメント利益には含まれておりません。